

2023年12月13日

講演

福岡県中小企業家同友会 企業連携推進委員会（FAST）で保田代表理事が講演

2023年12月13日 福岡県中小企業家同友会 企業連携推進委員会（FAST）12月例会において、保田SKS代表理事が「企業シニアの新現役だからこそ親身に寄り添える。経営課題解決のアイデアがきっと見つかる新現役交流会とは！」という演題で新現役交流会の意義、経緯、特徴、効果などについて講演しました。



[FAST 12月例会レジュメをご覧ください。](#)

中小企業家同友会は中小企業家が自主的に参加し、手作りの運営によって、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動する中小企業家の全国組織です（2021年4月現在、47都道府県に46,183企業経営者が参加。平均企業規模：従業員数30名）。

福岡県中小企業家同友会 企業連携推進委員会（FAST）では20年にわたり九州経済産業局や各大学などと連携して、企業の実際に直面している課題を取り上げ、情報収集をし、深く話し合うことで、主力商品のさらなる強化、企業連携・産学官連携による新しい商品・サービス、新しい市場を創造する活動をされています。

講演後の懇親会では、これまでの企業支援の現実や体験と新現役交流会の対比など熱のこもった意見交換がなされ、「企業課題に即した実務経験を持つ人材が加わることは課題解決にとっても効果がある。」「大手企業で行われている商品開発などの経営手法を会員が学び実践できることは企業を強くする大きな力になる。」「自分も苦境にある時に話を聞いてもらって立ち直った経験がある。社長の参謀役はとても大事。」などのご意見をいただきました。

翌日には九州で八年ぶりとなる全信組連の交流会が開催されましたが、「ぜひ来年は福岡県中小企業家同友会でも開催したい」との思いから、例会参加者17名のうち5名の方が熱心に見学されました。

「自主・民主・連帯の精神」の理念に基づく中小企業家同友会は「企業、新現役 金融機関」の三者対等を旨とする新現役交流会ととても親和性がよいことを実感しました。今後ともしっかりと連携して全国展開の礎にしたいと思いました。

文＝野澤